



令和5年11月  
京都市立柏野小学校  
校長 中村 茂美

## 学校評価特集号

# 第1回 学校評価へのご協力ありがとうございました

晩秋の候、平素は本校教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、今年度も7月に第1回の学校評価を行いました。保護者の方々への評価票は児童数で配布し、回収率は89%でした。ご協力いただきありがとうございました。皆様からの評価とご意見を、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

また、今年度は学校統合に向けて翔鸞小学校とアンケート項目をそろえて実施しました。アンケート結果をもとに両校で話し合いの場をもち、子ども達の様子や各校の取組、今後の活動などについても交流しました。これからも両校の子ども達の成長に向けて、話し合いを進めていきたいと思ひます。

## 令和5年度 前期アンケート結果

A…よくあてはまる B…どちらかといえばあてはまる C…どちらかといえばあてはまらない D…あてはまらない

	確かな学力					豊かな心						健やかな体				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
児童	先生や友達の話を聞かれていますか。	勉強していることが、よく分かりますか。	自分の思ったことや考えたことを書いたり話したり出来ますか。	進んで本を読んでいますか。	毎日家で勉強をしていますか。（目安 15分×学年）	進んであいさつをしていますか。	自分も友達も大切にしていますか。	学校で楽しく過ごしていますか。	学校やクラスの決まりや約束を守っていますか。	係や当番の仕事をできていますか。	学校のいじめ対策委員会のメンバーを知っていますか。	毎日朝ご飯を食べていますか。	毎日早寝早起きをしていますか。（夜は10時まで）に寝て朝は7時までに起きる	安全に気を付けて登下校をしていますか。	進んで体を動かしていますか。	
	A+B %	97.0%	93.9%	85.9%	73.7%	77.8%	93.9%	100.0%	96.0%	96.0%	98.0%	81.8%	96.0%	93.9%	99.0%	96.0%
	C %	3.0%	4.0%	12.1%	21.2%	18.2%	3.0%	0.0%	3.0%	4.0%	2.0%	11.1%	4.0%	6.1%	1.0%	3.0%
	D %	0.0%	2.0%	2.0%	5.1%	3.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	無回答%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「A」と「B」という評価結果の項目を「達成している」項目と考えています。

児童と保護者の結果を比較できるように表をそろえています。そのため、保護者のアンケート項目が一部空欄となっています。

【上段】児童

【下段】保護者

保護者	確かな学力					豊かな心					健やかな体				学校の取組			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	子どもが先生や友達の話	子どもが分かりやすい授	子どもが自分の思いや考	子どもが進んで本を讀む	子どもが毎日家庭学習を	子どもがすすんであいさ	子どもが自分も友だちも	子どもが学校で楽しく過	子どもが決まりや約束を	子どもが「学校いじめ防	子どもが毎日朝食を食べ	子どもが早寝・早起きを	子どもが安全に気を付け	子どもがすすんで体を動	子どもが保護者や地域の	学校の取組が保護者や地	学校が家庭や地域と連携	学校の行事が子どもの成
	を聞くこと。	業であること。	えを表現すること。	こと。	するこ。 (目安	つをするこ。	大切にすること。	すごすこ。	守ること。	止基本方針」のもと、	ること。	をすること。(夜10	て登下校すること。	かすこ。	の方々と力を合わせ、子	域の方々に伝わって	して活動すること。	長の成長にとって有効であ
	A+B %	91.1%	93.3%	81.1%	61.1%	57.8%	76.7%	97.8%	94.4%	94.4%	91.1%	95.6%	78.9%	96.7%	91.1%	90.0%	93.3%	91.1%
C %	5.6%	2.2%	15.6%	34.4%	34.4%	21.1%	0.0%	3.3%	3.3%	1.1%	1.1%	17.8%	1.1%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
D %	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答%	3.3%	4.4%	3.3%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	7.8%	3.3%	2.2%	2.2%	2.2%	6.7%	6.7%	8.9%	5.6%

## 【2校合同研修会の様子】

9月8日（金）に翔鸞小学校と統合に向けて2校合同研修会を行いました。今回の研修会では、両校のアンケート結果をもとに、各校の強みや両校共通した課題、児童の様子や取組について交流しました。



### 柏野小学校の取組

#### 縦割り活動・児童会活動

本校は、縦割り活動・児童会活動が強みのため、合同研修会で取組を発表しました。

本校は縦割り活動を計画的に進めています。毎月のかしわのタイム（人権週間）に併せてなかよしデーを設定し、異学年との仲間づくりや高学年の自覚を高めることを目的として縦割り遊びを実施しています。また、1年生を迎える会では、早く学校に慣れるよう縦割りグループで遊んだり、6年生を送る会では、お世話になった6年生に感謝の気持ちをプレゼントにして渡したりします。また、人権集会では、異学年で意見交流をしたり、仲間づくりのゲームを取り入れたりしています。

委員会活動の中の一つに代表委員会があります。代表委員会では、行事の司会進行をしたり、学校の課題に対する取組を考えたりします。また、委員会会議を開催し、各委員会の報告をしたり、行事を運営するための協力依頼をしたりするなど、児童自身が学校と向き合い、自分たちで学校を動かすようにしています。

今後も、よりよい学校作りを子ども達と共に進めていきたいと思っています。

### 翔鸞小学校の取組

#### 進んで挨拶

本校では、挨拶の項目が昨年度に引き続き低評価でした。一方、翔鸞小学校では、子どもも大人も挨拶に対する評価が高かったということで、挨拶についてお話をいただきました。挨拶に特化した具体的な取組は実施されていないということでしたが、全校集会で校長先生が挨拶についてのお話をしたり、各学級でお話したりと大人側が意識的に挨拶についてのお話をする人が多いようです。挨拶をしてから礼をするなどの「先言後礼」を大切にしているということもわかりました。

また、地域の方々との交流や校外に出る際など、多くの人に支えられて日々の学校生活が成り立っていることなどへの意識をもてるように、各取組前には子ども達へ話をされているそうです。そうすることで、挨拶をする意味や挨拶でつながる関係性などを意識し、子どもが自然と挨拶できるように取り組まれています。また、その取組を継続してきたことで、学校全体に挨拶することが当たり前という雰囲気ができているようです。



### 部会で交流

#### 家庭学習・読書

「家庭学習」「読書」については、両校の課題として、学年部会に分かれて各校の実態を交流しました。また、「家庭学習」においては両校だけでなく、中学校ブロックで見ても課題であると話題になりました。「習い事などで十分な時間がとれない。」や「宿題だけ済ませて終わり。」となってしまうケースが多いようです。今回の交流を踏まえて、今後部会の方で家庭学習の内容や読書活動の充実についてどのように進めていくか両校で話し合っていきたいと思っています。



#### 早寝早起き

朝の様子を見ていると、しっかり睡眠をとれていないと感じる児童がいるようです。その一つに、習い事と宿題に時間がかかったり、テレビや動画などを楽しむ時間をたくさんとったりすることで、寝る時間が削られているようです。その結果、起きる時間が遅くなり、朝ご飯を食べる時間が十分確保できなくなっています。学習において、健康面の安定は大切です。睡眠や食事など、健康的な生活の大切さも継続して伝えていきたいと思っています。

## 【学校運営協議会から（一部）】

- ・学年によって宿題の量が違う。宿題の量が多くても負担が大きい。バランスが難しい。
- ・最近では、インターネットの活用が増えてきているが、本などを通して文字に触れるなどの場面を大切にしてほしい。
- ・家庭でも挨拶をしっかりしてほしい。一方で、安全面から考えると、知らない人に挨拶しにくいのは、仕方ないのではないかな。
- ・挨拶は、なぜするのかを子ども達に伝えていたり、挨拶のみで終わらず一言付け加えたりしてはどうか。

## 【各部会の交流スタート】

2校合同研修会を終え、各部会に分かれての交流も本格的にスタートしました。今回のような学校評価アンケートや日頃両校で実施している取組を交流しながら、令和7年度の統合に向けて準備をします。現在実施している取組をすり合わせながら、互いの学校の強みを吸収し合い、また課題をどのような取組で改善していけるかなどを話し合いながら、統合した時により良い形になるように、話し合いを進めています。統合してからがスタートではなく、現時点でできることを両校でスタートしながら、両校の児童にとってさらに良い取組を進めていきたいと思っています。